

眼で見える安心!! — 血流動態の可視化を実現しました。

リアルタイム 血流画像化装置

moorFLPI



組織血流の変化を動画でリアルタイム観察

急速な血流変化も逃しません。最大0.04秒でキャッチ。

リアルタイム計測
 組織血流分布のムービー撮影と動画の再生
 25フレーム/秒
 ROI内の平均血流量トレンド表示
 任意の時間間隔ごとに血流分布画像の自動保存

豊富な解析機能
 ROI選択ツール、平均値、最大値、最小値、
 数値データ、グラフ表示、ヒストグラム表示、
 画像フィルタ処理、カラーパレット

高解像度 49,000ピクセル/cm²

小型軽量 重量1.8Kg ノートPC制御

血流画像を自動的に静止画保存

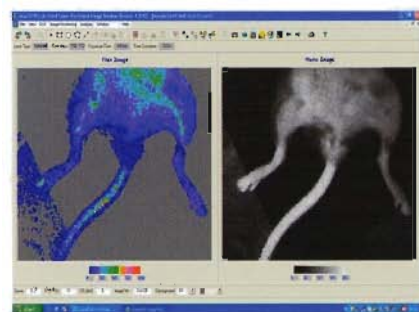
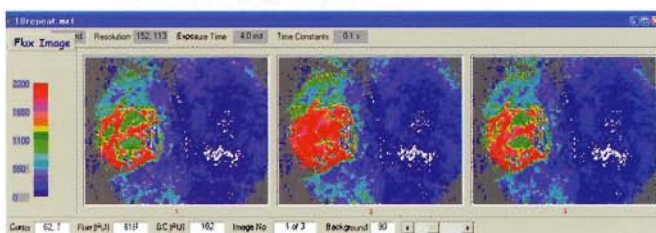
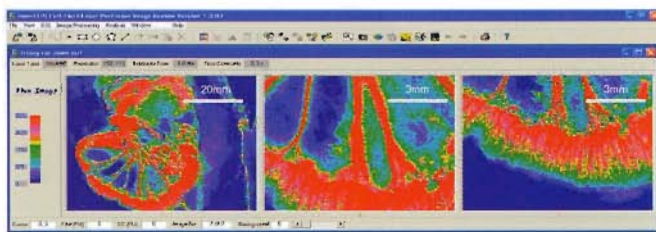
リアルタイムトレンド表示

動画のリアルタイムモニタ

計測画面

生体組織にレーザー光を照射すると、レーザー光は赤血球などの散乱粒子により散乱されます。散乱されたレーザー光は干渉して斑点模様（スペックル）が現れます。このスペックルイメージは赤血球の動きに応じて変化します。moorFLPIは内蔵のCCDカメラでスペックルイメージを撮影して、スペックルイメージの変化から組織血流量を演算し、血流量を2次元マップ画像として表示します。moorFLPIは高解像度のカメラで連続撮影し高速演算を行うことで毎秒25フレーム（最大）の速度でリアルタイムに血流画像の表示を行います。ここに次世代技術によるリアルタイム血流画像化装置 moorFLPIが登場しました!!

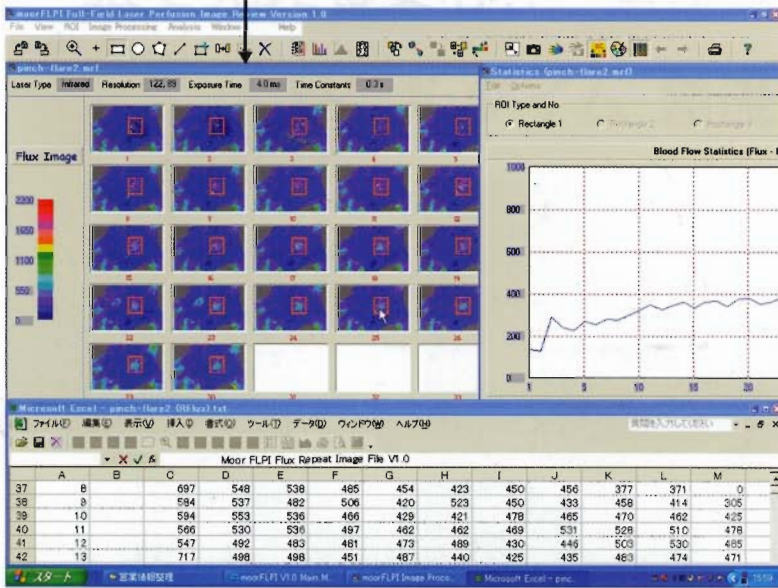
測定例



専用ソフトウェアで解析からプレゼンテーション

画像データ、トレンドデータの解析。

繰り返し静止画にROIを指定

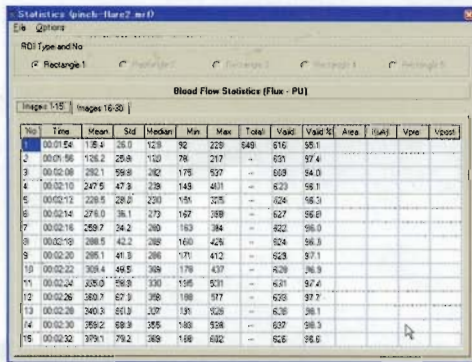


画像の解析

- 豊富なROIツール (矩形、円、ポリゴン、直線)
- ROIデータの保存と読み出し
- 統計解析 (最大、最小、平均、中間値)
- 画像フィルタ、差分表示、カラーパレット
- ASCII数値データ保存

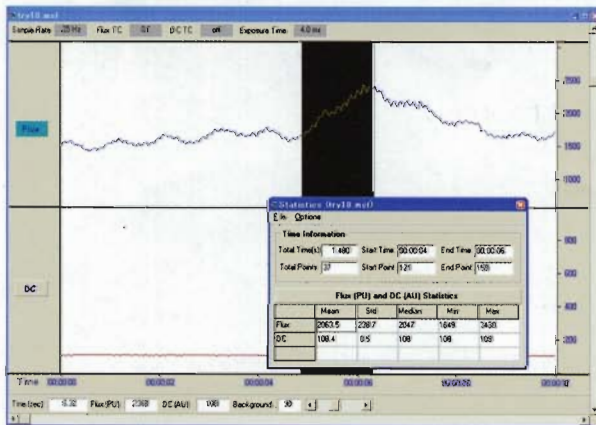
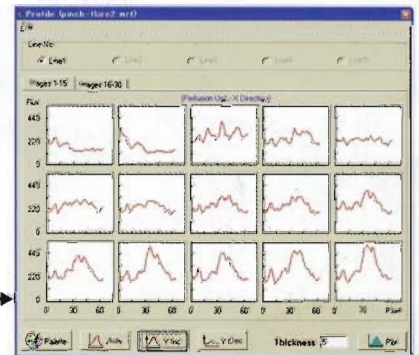
ROI内の平均血流量をグラフ表示

数値データをエクセルで開く



ROI内の統計値を数値データとして表示

直線ROIツールからプロフィール解析



トレンドグラフ解析

リアルタイム出力されたグラフはマウスで範囲指定すればすばやく統計値が計算されます

moorFLPI仕様

測定方法	Reduced Speckle Imaging
レーザー	785nm±10nm
レーザーパワー	0.4mW 測定 (前面パネルの7mm開口)
レーザー安全性	Class 1ー眼保護用ゴーグルが不要
光路の位置合わせ	工場設定済み
キャリブレーション	工場設定済み
データ出力	スプレッドシート形式出力、AVI保存、ビットマップ
カメラ解像度	768×576ピクセル
計測速度	最大25フレーム/秒 0.04秒で1画面
スキャン領域	5×7 から 80×120 mm
測定モード	シングルポイント、シングルイメージ、繰り返しイメージ ビデオモード、各モードの同時動作が可能
ピクセル解像度	49,000ピクセル/cm ²
ソフトウェア	装置の制御、測定、解析
支持台	デスクトップスタンド (標準)、移動スタンド (オプション)
PC (オプション)	ノートPC、デスクトップPC、タッチパネルPC
アイソレータ電源	オプションの移動スタンドに付属
CEマーキング	対応
動作温度	15-30℃
保存環境	温度0-45℃ 湿度0-80% RH (結露のないこと)
電源	100-240 V、47-63 Hz AC
消費電力	12W
寸法及び重量	220×80×230 mm (W×H×D) 約18kg